



次世代に語り継ぎたい「島守」



命どう宝、生き抜け!

私、生きましたよ

©2022映画「島守の塔」製作委員会

鉄の暴風と言われた激しい空襲、艦砲射撃、上陸戦の絶望に追い込まれた沖縄戦。その中で「生きろ!」と後世に一筋の命を託した2人の官僚と沖縄の人々の物語を映画化。

映画上映「島守の塔」

令和5年

8月11日 金・祝

2回上映(上映時間 約130分)

- ① 10:00~(開場 9:15)
- ② 14:00~(開場13:15)

会場 美浜町生涯学習センター なびあす



人権協 HP アドレス

入場無料 (事前申込不要)

※満席の場合は入場をお断りする場合がございますのでご了承ください。

町内・町外を問わずどなたでもご参加いただけます。



©2022映画「島守の塔」製作委員会

県民の4人に1人、20万人が犠牲となった日本国内最大の地上戦「沖縄戦」。

命を懸けて「命(ぬち)どう宝、生きぬけ!」と叫び続けた2人の官僚と、命の重みを受け継ぎ「沖縄戦」を生き抜いた沖縄県民。それぞれの苦悩と生きることの奮闘を描き、本土復帰50年の節目に「命の尊さ」を次世代に継承する映画が誕生しました。

STORY

STORYストーリー
沖縄戦末期、本土より派遣された2人の内務官僚がいた。1人は学生野球の名プレイヤーとしてならし、戦中最後の沖縄県知事として沖縄に赴任した島田叡(あきら)。島田は、度重なる軍の要請を受け内務官僚としての職務を全うしようとする。しかし、戦禍が激しくなるにつれ、島田は県政のトップとして軍の論理を優先し、住民保護とは相反する戦意高揚へと向かわせていることに苦悩する。そして、多くの住民の犠牲を目の当たりにした島田は「県民の命を守ることこそが自らの使命である」と決意する。もう1人は、警察部長の荒井退造。島田と行動を共にし、職務を超え県民の命を守ろうと努力する。実は、沖縄戦で2人はそれぞれ重い十字架を背負っていた。荒井は、子供など県民の疎開を必死に推し進めていた。その矢先、本土に向かって学童疎開船「対馬丸」が米軍の攻撃に遭い、数多くの子供たちが犠牲となった。また、島田は知事として、軍の命令で鉄血勤皇隊やひめゆり部隊などに多くの青少年を戦場へと向かわせていた。2人はそれぞれ十字架を背負いながらも、戦禍が激しくなるのに伴い、必死に県民の疎開に尽力し多くの沖縄県民を救っていった。一億総玉砕が叫ばれる中、島田は叫んだ。「命どう宝、生きぬけ!」と。

萩原聖人 村上 淳
吉岡里帆 池間夏海 / 榎木孝明 / 成田 湊 水橋研二 / 香川京子

映画「島守の塔」公式サイト shimamori.com

新型コロナウイルス感染症対策について

ご来場の際には、下記の「ご来場の皆様へ」「感染予防措置について」を必ずご確認の上、ご来場いただきますようお願いいたします。新型コロナウイルスの感染状況により公演を中止させていただく場合がございます。

ご来場の皆様へ

- ご来場前に、検温など体調管理のご協力をお願いいたします。発熱、咳などの症状がある場合は、体調を最優先いただき、ご来場をお控えください。
- 手洗いや手指消毒、咳エチケットのご協力をお願いいたします。
- 入退場の際に可能な限り間隔を広くお取りいただき、ソーシャルディスタンスの確保にご協力ください。



体調管理



除菌・消毒



換気



ソーシャルディスタンス

感染予防措置について

- 非接触式体温計での検温を行います。検温の結果37.5度以上の発熱が認められた方は大変申し訳ありませんがご入場をお断りいたします。
- ホール内は常時空調設備を稼働させますが、換気を優先するため十分な空調効果が感じられない場合がございますのでご了承ください。
- ブランケットの貸し出しは中止させていただきます。不安がある方は防寒具をご用意ください。
- 館内設備・備品の消毒・清掃を強化しています。

ご理解とご協力をお願いいたします

お問い合わせ 美浜町人権尊重啓発協議会事務局 (生涯学習センターなびあす内)

〒919-1141 福井県三方郡美浜町郷市29-3
E-mail jinkenkyo@town.fukui-mihama.lg.jp
(8:30~17:15 / 休館日: 月曜日)

TEL. 0770-32-1212

■アクセス

【お車ご利用の場合】舞鶴若狭自動車道若狭美浜ICより小浜方面へ約10分。もしくは若狭三方ICより敦賀方面へ約10分。なびあす駐車場(無料)をご利用ください。

【電車ご利用の場合】JR小浜線美浜駅より徒歩約10分。

